

〔 横浜市栄区民文化センター 〕
令和 5 年度業務計画及び収支予算
〔 神奈川共立・JSS 共同事業体 〕

1 施設の概要

施設名	横浜市栄区民文化センター リリス
所在地	横浜市栄区小菅ヶ谷一丁目 2-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下 2 階地上 6 階建ての地下 1 階から 3 階部分の各一部を占有（区分所有）
敷地・延床面積	占有延床面積 2,977 m ²
開館日	1998 年（平成 10 年）2 月 1 日

2 指定管理者

法人名	神奈川共立・JSS 共同事業体 代表企業 株式会社神奈川共立
所在地	横浜市西区岡野 2-6-6 I S A ビル 4 F
代表者	森山 英明
設立年月日	1985 年 11 月
指定期間	2022 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の管理運営開始日	2006 年 4 月 1 日より

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

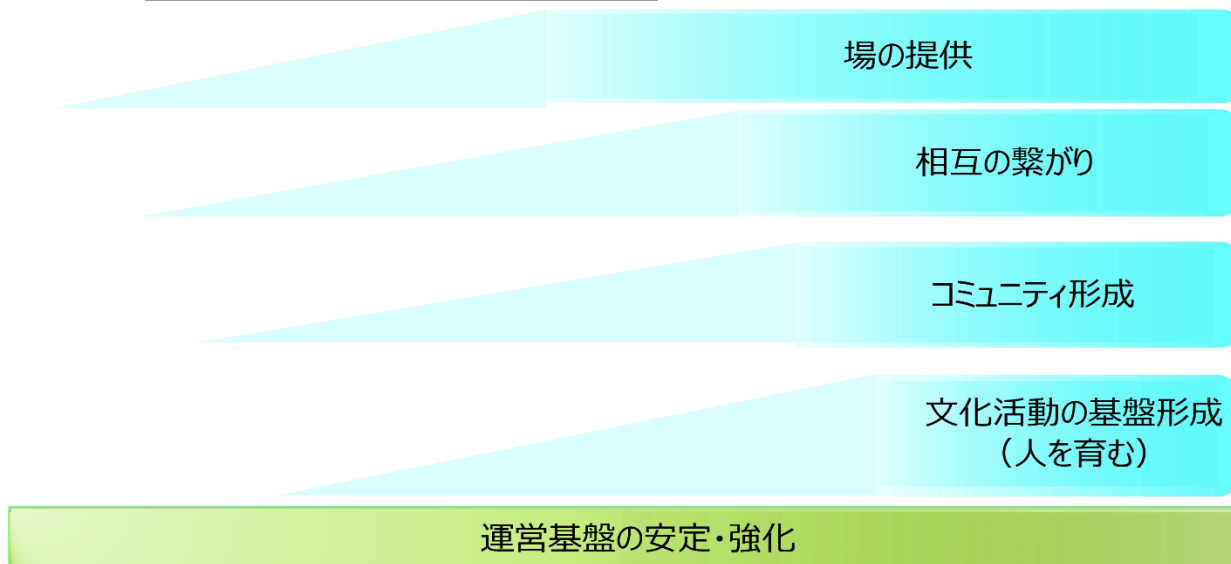
文化芸術はそれ自体に価値を感じ好む人にとってはその価値を十分に享受されます。2021 年度（第 3 期）までは、その方々に文化芸術の機会を提供し、文化芸術の振興を図ってまいりました。しかしそれは、区民意識調査からわかるように、栄区民 12 万の内、約 7 千人（5.9%：文化芸術活動への参加や振興 令和元年調査）になり、残りの 11 万 3 千人の皆様は、概ね栄区民文化センターリリスを活用できていないと考えています。また文化芸術は、創造性の発揮や自己表現、コミュニケーションなどの機能を活用し、教育や福祉、医療、コミュニティなど様々な社会問題に対し、従来とは異なる方法で解決策を提示できる可能性があります。さまざまな生きづらさや孤立を抱えている人たちに、文化芸術のすばらしさを理解してもらうことではなく、「**文化芸術が暮らしの課題に寄り添い、心の支えとなる**」と考えます。当事業体は、「文化芸術の展開」によって、街（栄区）がかかえる課題に対し様々なアプローチを行い、2032 年には「栄区が文化芸術で多くの人の心の支えとなり、みんなが健やかに暮らせるまち」になっていることを目標に掲げ、運営してまいります。

(2) 施設の運営方針

- ◆場の提供
 - ・アウトリーチにより、文化芸術を広く経験し、心の癒しのきっかけ作りの場を提供します
 - ・高品質の文化芸術事業を、リリス中心で提供します
- ◆コミュニケーションづくり
 - ・アウトリーチは地域と協力して、一緒に体験する場と位置付けます
 - ・地域と連携する際に、アーティストや様々な団体と一緒に進めます
- ◆コミュニティづくり
 - ・様々な人が垣根無く参加できるコミュニティ形成を行います
- ◆文化芸術活動を担う人材を育む
 - ・地域で文化活動に興味を持ち、活動を主導する人材を増やすことで、地域住民の文化芸術活動の可能性を広げます
- ◆適切な館の運営
 - ・長年の経験とノウハウと各事業会社の特性を生かし、強固な運営基盤を構築します。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
2022年度 定性・定量評価達成	2023年度 定性・定量評価達成	2024年度 定性・定量評価達成	2025年度 定性・定量評価達成	2026年度 定性・定量評価達成

中間評価	年度	2018年度	2024年度
	総合評価	B	UP! A



4 令和5年度の業務の方針

(1) 令和5年度の位置づけ

① 施設運営の方針

- ・施設の運営に際し、「新型コロナ感染症拡大防止」に際し、感染防止対策と経済社会活動の両立のため、感染防止対策の下での安全な施設運営を行うことを目的とし、横浜市のガイドラインに従い運営します。
- ・横浜市の予約システム更新に備え、現在のチケット販売システムやキャッシュレス対応をバインドできるように、業務を見直してまいります。
- ・水光熱費の高騰を考慮し、エネルギー消費の削減に努め、合わせて環境への配慮を継続して実践いたします。

② 事業の方針

- ・リリースが主催・共催で開催する事業は、「品質を重視しながら、適正な価格でチケットをご購入いただけるように」新型コロナ蔓延状況などの内外環境の変化に即し、組立てます。
- ・今年度は、使命2の人材育成、使命4のソーシャルインクルージョン及び文化的commonsの考えを踏まえた取組を増やし、地域連携事業については、各団体や施設と連携した事業が展開できるように、努めてまいります。

③ 施設管理の方針

- ・施設保全是、新型コロナ蔓延状況、水光熱費の高騰により、昨年に引き続き発生時対応を中心に行い、優先順位をつけ、収支の状況を踏まえながら運営します。実施する際は、市が策定している「維持保全の手引き」及び「施設管理点検マニュアル」に基づいて行います。
- ・保守管理業務、環境維持管理業務、保安警備業務、防火・防災等、緊急時の対応、感染症対策等衛生管理の徹底、施設の管理に関する留意事項、重要書類の管理、行政機関が策定する基準等の遵守、法令の制定及び改正への対応を業務の基準に示された内容で、着実にまいります。

(2) 第4期各使命の位置づけと令和5年度の取組み

【使命1】文化芸術の活動と体験の場となる

文化芸術に関する活動と体験の場を提供することで、市民の活動を支援する。

ア 文化芸術活動の活動と体験の場となる（貸館）

地域の皆さんが、「専門性をもって文化芸術活動を行う場として」、地域の皆さんが「幅広く文化芸術を体験する場として」、地域の皆さんが「日常的な活動をする場として」、気軽に立ち寄れるように努めます。第3期までは、文化活動を行う場としていましたが、地域のまちづくりに貢献できる活動も加え、市民の活動を支援します。

継続的な取組み

- ・利用相談、施設見学への対応
- ・施設特性に応じたご案内
- ・利用申請、利用前打合せへの対応
- ・ホール、ギャラリーの本番利用に対する事前打合わせによる利用品質の向上
- ・AEDの設置（聴覚障害者対応）完了
- ・受付対応スタッフのスキルチェックとスキル向上
- ・利用希望者への情報提供
- ・高齢利用者への対応
- ・予約システム操作用パソコンの設置
- ・情報交換掲示板の活用
- ・リモート打合せの継続
- ・キャッシュレス化の定着

イ 文化芸術活動を担う人材を育む

以下の3つの考え方に即し、地域コーディネータを中心に、地域住民の文化芸術活動の可能性を広げるように人材を育む運営を行ってまいります。

- 文化芸術活動を能動的に参加、鑑賞する皆様（個人、団体など）
- 文化芸術活動を受動的に考えている皆様（個人、団体など）
- 文化芸術活動に係る人を主導する皆様（各施設の方、ボランティア、団体、アーティストなど）

その他、横浜市芸術文化プログラム教育より子供たちの育成支援を横浜市と共に、進めてまいります。

【使命2】文化芸術活動を担う人材を育む

地域で文化活動に興味を持ち、活動を主導する人材を増やすことで、地域住民の文化芸術活動の可能性を広げる。

「文化芸術に興味・関心を持つ人を増やす」ための具体的な取組み

◇ ステップ1

- ・日常的に文化芸術に触れる機会を提供するアウトリーチ活動
- ・「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」への参加
- ・アウトリーチ先の新規開拓

◇ ステップ2

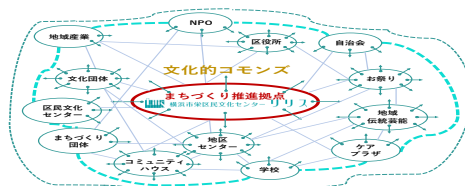
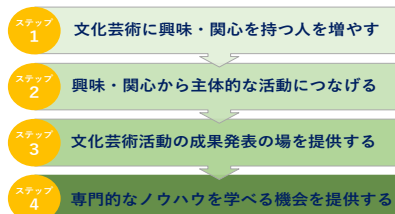
- ・文化芸術への「興味・関心から主体的な活動に繋がるきっかけをつくる」プログラムの提供

◇ ステップ3

- ・文化芸術活動の成果発表の場の提供

◇ ステップ4

- ・「専門的な文化芸術活動のノウハウを学べる機会」の提供
- ・文化事業を支えるボランティアなどの運営への参加促進
- ・文化芸術の普及活動



【地域共創アーティスト&パートナー】

リリースと共に、「すべての人に文化芸術活動を体験できる機会（ふれあいの場）を提供して体感してもらい、それぞれの暮らしの課題に寄り添うことを実現していただけるアーティスト、団体の皆様を、「地域共創アーティスト&パートナー」と位置づけ、栄区の各地域のランドマーク的な場所（小学校、地区センター、コミュニティハウス、神社、お寺、公園など）で公演やワークショップを開催します。状況にもよりますが、できるだけ開催場所を主催者として、地域の皆様に集まっていただき、「文化芸術活動を体験できる機会」を提供します。

地域共創アーティスト&パートナー

尾城杏奈（ピアノ）	三村梨沙（トランペット）	山縣美季（ピアノ）
イル・ヴィスキオ （弦楽器アンサンブル）	Tomoko（ピアノ・歌唱）	花田えり佳（ピアノ）
大野真由子（ピアノ）	清岡優子（ヴァイオリン）	高瀬真由子（ヴァイオリン）
ヒダノ修一（和太鼓）	さかえdeつながるアート	

【レジデンスアーティスト】

第3期からの、オーディションを勝ち抜いた若手アーティストの皆様。（令和5年度に卒業の予定）

レジデンスアーティスト

星めぐみ（ピアノ）	北見 春菜（ヴァイオリン）
-----------	---------------

【賛助アーティスト】

リリースブランドの向上にプレゼンス向上に寄与いただいているアーティストの皆様。

賛助アーティスト

加藤昌則（作曲家・ピアノ）	佐藤友則（トランペット）	小林美樹（ヴァイオリン）
石田 泰尚（ヴァイオリン）	碓井 俊樹（ピアノ）	

「参加育成型事業計画の骨子」

新型コロナの蔓延状況を踏まえ、実施いたします。

事業	内容	頻度	備考
鑑賞・育成事業	午後の音楽会 学生プロデュース企画	年1回	午後の音楽会を学生がプロデュース
参加・育成事業	リリース芸術学部	年1回	加藤昌則氏によるクラシック講座と演奏 全5回
参加・育成事業	こども・こそだてアートキャラバン	年1回	ケアプラザなどのワークショップ全4回
参加・育成事業	横浜市教育プラットフォーム	年3回	横浜市教育プラットフォーム参加事業
参加・育成事業	区民参加事業・オープンデイ	年1回	ホールもしくはギャラリーでの区民参加事業

【使命3】文化芸術の鑑賞の機会を提供する

音楽、演劇、ダンス、美術などの文化芸術に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れる区民文化の醸成に貢献する。

ウ 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する（自主事業）

優れた文化芸術活動を身近で触れることができ、近隣ホールやみなとみらい地区、さらには都内の大劇場に出かけるきっかけ作りとして、またそのことを刺激に、地域の文化活動に刺激を与えてまいります。そのことで、感性豊かで多様な価値観を受け入れる区民文化の醸成に貢献します。

「施設の機能を最大限に生かした公演・催し」

施設	施設の機能・特性	想定できる鑑賞事業の実施内容
ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・アコースティック系の音楽に最適なシューボックス型の音楽ホール ・舞台と客席の距離が近く、アーティスト・来場者の一体感が感じられる空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックのソロ、アンサンブル公演 ・小編成のジャズ公演 ・邦楽器のソロ、アンサンブル公演 ・親子、子ども向けの音楽公演
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・高い天井とガラス窓による明るく広々とした雰囲気を感じられる空間 ・可動式展示パネルにより自由な空間レイアウトが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画、写真などのアート鑑賞 ・「アーティスト・イン・レジデンス」と連動した幅広いアート鑑賞

「令和5年度の事業計画の骨子」

通常の公演スケジュールで開催します。

事業	内容	頻度	備考
鑑賞事業	古典芸能	年1回	地元の和太鼓の団体と鼓動とのコラボ
鑑賞事業	午後の音楽会	年7回	気軽に楽しめる1時間公演
鑑賞事業	午後の音楽会プレミアム	年5回	コラボ・トークなど2時間公演
鑑賞・参加事業	ファミリーコンサート	年1回	0才からの鑑賞参加型事業 全2回
鑑賞事業	リリス 未来に向けての公演	年1回	今後のクラシック界を担う若手による公演
鑑賞事業	Yasnao×Lilis No.29.30	年1回	17年間続く石田秦尚氏のソロ公演
鑑賞事業	上質なクラシック講演	年1回	著名なアーティストによる公演
鑑賞事業	身体にいい音楽会	年1回	リリスでの室内楽を定着させる公演
鑑賞・参加事業	トリエンナーレ連携事業	年1回	栄区出身の美術家による個展

【使命4】幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、栄区の幅広い人を受け入れ、親しまれる施設となるため、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点も踏まえた利用者本位の運営を行う。また、地域の文化施設として求められる役割と専門性をふまえ、**地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与する。**

エ 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

栄区の各施設（地区センター、コミュニティハウス、障害者施設など）をまちづくり活動拠点と位置づけ、文化活動及び文化活動にかかわらない様々な地域の皆様と様々な機会を通じ、ネットワークづくりを行い、共同での事業を行うなど、**文化的コモンズの形成に寄与**します。また、活動拠点における活動を通じ、その近隣の皆様を中心に参加していただくことにより、今までリリスを訪れることができなかった皆様、さらに文化活動に参加できなかった皆様も対象として、地域の自治会、連合会との連携を通じ、**ソーシャル・インクルージョンの視点**も踏まえた多くの参加機会をつくるように、地域コーディネータを中心に務めてまいります。

「あしながふれあいプロジェクト」

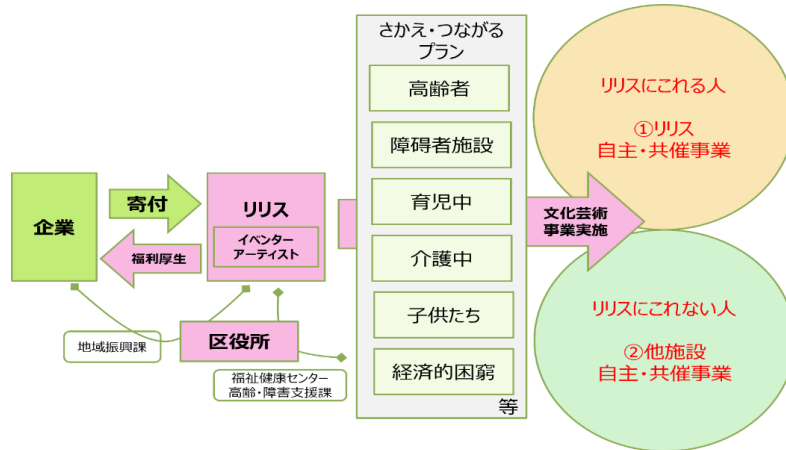
栄区は、「みんなが支えあい安全・安心を感じるまち さかえ」を目指しています。そこで、あらゆる人が誰もが身近な地域でいきいき暮らせ、お互いが支えあい、様々なつながりをすすめることに、文化活動が一助になると考えています。

目的：芸術・文化に触れる機会が少ない皆様に機会を設け、芸術・文化の振興に寄与します。

内容：リリース、各地域の施設で公演やワークショップを行います。

費用：一般の企業の賛同、リリースの事業費を充当します。

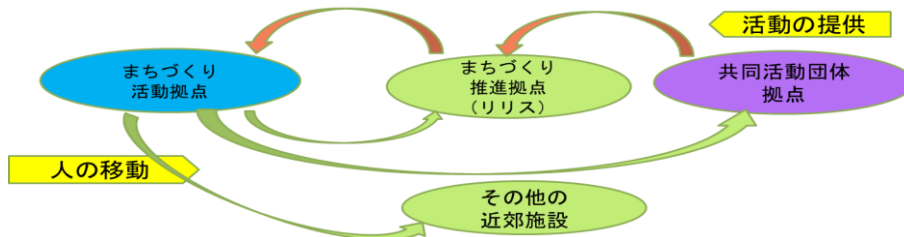
対象：すべての人で、文化芸術に接する機会が少ない方々



「さかえふれあいプロジェクト」

各地域のランドマーク的な場所（小学校、地区センター、コミュニティハウス、神社、お寺、公園など）で公演やワークショップを開催します。状況にもよりますが、できるだけ開催場所を主催者として、地域の皆様に集まっていただき、「文化芸術活動を体験できる機会」を提供します。

文化施設としての文化活動を通じ、地域のみなさまを中心に繋ぎ、地域の課題に取り組める関係づくりに寄与したいと考えています。そのために、そのような「まちづくりを推進する拠点」をリリースに位置付け、栄区の地域を網羅した地区センターやコミュニティハウスなどを、「まちづくり活動拠点」と位置づけます。それらの場所から人が流動的に動き、新たな活動に向かっていきます。簡単に図解すると以下の通りです。



「2022年度の事業計画の骨子」

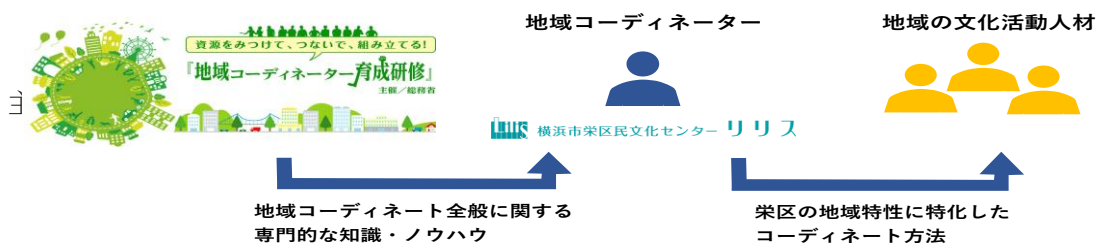
社会包摂・文化的commonsの事業を増やして行います。

事業	内容	頻度	備考
鑑賞事業（共催）	パラフェスタ連携事業	年1回	障害者週間のホール事業
鑑賞事業（協力）	読書フォーラム連携事業	年1回	読書フォーラム連携事業
鑑賞事業（共催）	翠風荘連携事業	年6回	翠風荘との連携事業
鑑賞事業（共催）	小さなアーティスト展	年1回	障害者週間のギャラリー事業
鑑賞・参加事業（支援・協力）	社会包摂・文化的commons事業	年4回	・地域連携事業（SAKAESTA等） ・地域連携マネジメント講座

「地域コーディネータ」

当施設の指定管理業務で培った地域コーディネートに関する情報・スキルと研修で学んだ知識を地域に積極的に還元し、地域の中にコーディネーター人材を育成していきます。「文化芸術活動を主導する人材育成の取組みと連動させることで、文化芸術を中心とした地域コーディネートの輪を広げていきます。

主題1：地域コミュニティの形成・社会包摂の推進



【使命5】持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。

オ 持続可能性を高める施設運営を行う

「業務の基準」に即し、利用者の**安全・快適、コンプライアンス遵守**を第一に運営してまいります。3期の経験を踏まえ、施設運営の想定リスクを評価するに際し、「運営への影響度」「発生するリスクの危険度」「発生するリスクの確率」の三軸より、運営にとっての重要度を数値化し、優先順位を付け、整理したリスク対策を行います。コストに関しては、指定管理者が行うべき案件の修繕は、予防修繕、小破修繕で可能な限りインターバルを延ばし、効率的な経費コントロールを行い、**安定した施設運営**を行います。

【法令にのっとりた施設管理】

点検スケジュール	回数(年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指定管理者 年度設備点検	1回			○									
省エネ月次点検	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防設備点検・エレベーター保守	-	管理組合による											
定期清掃	6回	○		○		○		○		○		○	
エレベーター保守(専用部)	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
舞台機構保守	4回		○				○		○				○
照明設備保守	○ホール/2回 ●調整室/1回				○				○				
音響設備保守	2回			○								○	
ピアノ保守	○ホール ST-D/2回 ●ホール CF III-S/1回 △音楽ルーム S4/1回			△	○						○		
ピアノ調律	○ホール ST-D/2回 ●ホール CF III-S/3回 △音楽ルーム S4/12回 ▲練習室BYU11/12回	○ △ ▲	△ ▲	△ ▲	△ ▲	△ ▲	● ▲	○ ▲	△ ▲	● ▲	△ ▲	△ ▲	● ▲
移動型展示パネル	2回						○				○		
防火シャッター(専用部)	4回以上		○					○		○			○
テーブルリフター	1回											○	
建築点検基準法第12条 法定点検(設備・建築)	随時	発生時											

【修繕工事】

➤ 大規模・中規模修繕工事

ホールの音響設備・照明設備・ITVカメラ、エレベータの更新、全体の監視カメラ（管理組合マター）、ギャラリーのパネル更新、パッケージエアコンに関しては、横浜市の更新計画に従い、実施します。

➤ 小規模修繕工事

2022年度で実施できなかった空調工事を実施いたします。

各場所のLED化を中心に取り組みます。各種点検結果による建築設備修繕、故障による修繕は、緊急性・重要性・影響度を鑑みて、必要があれば実施します。

実施年度	大分類	優先度	規模	場 所	状 態	対 処	2023年
横浜市	建築設備	優先A	大規模	建物全体の監視カメラ	アナログの老朽化、故障	更新	
横浜市	建築設備	優先A	大規模	エレベータの更新	老朽化	更新	
横浜市	舞台・諸室	優先A	大規模	ギャラリーパネル張替え	衛生対応・汚れ・穴あき	張替え	
横浜市	空調	優先A	大規模	館内パッケージエアコン	メンテナンス及び部品交換	更新	
横浜市	舞台・諸室	優先A	大規模	ロビーカーペット	衛生対応・汚れ・毛羽立ち	張替え	
横浜市	舞台・諸室	優先B	大規模	I T V	経年劣化	更新	
横浜市	舞台・諸室	優先A	大規模	照明設備更新	経年劣化	更新	
横浜市	舞台・諸室	優先A	大規模	音響配線工事など	経年劣化	更新	
2023年	電気	優先B	中規模	楽屋照明LED化	交換蛍光灯の生産減少と省エネ化	交 換	¥400,000
2023年	電気	優先B	中規模	1階廊下照明LED化	交換蛍光灯の生産減少と省エネ化	交 換	¥300,000
2023年	電気	優先B	中規模	会議室照明LED化	交換蛍光灯の生産減少と省エネ化	交 換	¥200,000
2023年	電気	優先B	中規模	事務室照明LED化	交換蛍光灯の生産減少と省エネ化	交 換	¥200,000
				予備費			¥900,000
							¥2,000,000

【備品】

➤ スタインウェイ D-274

1997年11月に納入依頼、全弦交換、ハンマー交換、キャスト交換など行い、オーバーホールを2回行っており、これ以上のオーバーホールはメーカーが推奨していません。今期は部分修繕を行い、来期でのメーカー外オーバーホールか更新を検討します。

➤ ヤマハ CFⅢS

1997年11月に納入依頼、全弦交換、ハンマー交換などを行い、オーバーホールを2009年に実施しており、オーバーホールが必要ですが、今期はミュージックワイヤー、ハンマーフェルトの交換を行い、来期にオーバーホールを行う予定です。

➤ その他

水光熱費高騰を踏まえ、諸室の備品更新は次年度以降に行います。今年度は、ピアノの発生時対応を中心に行い、故障備品については、収支の状況を踏まえ、緊急性・重要性・影響度を鑑みて、必要があれば対応します。諸室の映像システム（モニター、レコーダ、HD等）を令和4年度で購入できなかったものを令和5年度で優先的に購入します。

実施年度	大分類	優先度	場 所	状 態	対 処	2023年
2023年	備品	優先A	STタンス・フェルト劣化	故障・劣化	部品交換	¥300,000
2023年	備品	優先A	ST部分修繕	故障・劣化	部品交換	¥300,000
2023年	備品	優先A	CFミュージックワイヤー劣化	故障・劣化	部品交換	¥300,000
			舞台備品			¥300,000
			予備費			¥300,000
						¥1,500,000

【施設管理の定型業務】

3期の経験を踏まえ、横浜市の報告書、届、調査対応など、定期的な業務を正確に遅滞なく、実施します。また、業務の標準における仕様に基づき、清掃、点検などを正確に遅滞なく、実施します。

行政報告&届出	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次報告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
前年度報告書		○										
前年度利用実績調査				○								
半期利用者実績調査								○				
指定管理者年度設備点検			○									
個人情報受講届&誓約書												○
目的外使用料申請										○		
管理組合費決定											○	
次年度計画書						○					○	
次年度利用料決定						○						
次年度協定書												○
次々年度休館日申請												○
業務従事者変更届出						○						○
当年棚卸&台帳更新												○
省エネ月次点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定期清掃、舞台保守、エレベータ保守、消防設備点検、調律他	公募要項順守											
十二条点検（設備・建築） 興行場変更届【館長】 開館時間変更届 資産異動届	発生時随時											

【使命6】 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続します。

カ 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、リスクの洗い出しとそのコントロールをどのように行うか、またその対応は現実的なのかを医師と共に検証したガイドラインを遵守し、貸館事業・自主事業を運営してまいります。一方、運営する側は、「感染対策マニュアル」を策定・運営し、職員の健康管理に努めてまいります。

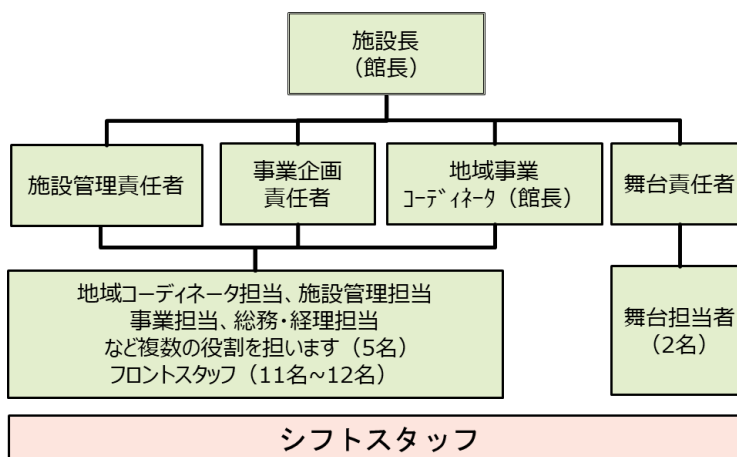
【感染症対策】

- ・横浜市のガイドライン、劇場用のガイドラインなどの更新に従い遵守して感染防止対策を行います。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 人員配置&体制

項目	人数	備考
館長	1人	運営管理事業全般にわたる統括責任者
施設管理責任者	1人	施設管理、貸館に関する責任者（兼任）
事業企画責任者	1人	自主事業の企画制作業務全般にわたる責任者
地域事業コーディネータ	1人	地域事業の責任者（館長兼任）
施設運営・事業担当者	5人	施設管理、貸館、自主事業、地域事業の担当者
舞台管理責任者	1人	舞台管理業務全般にわたる責任者
舞台管理担当者	2人	舞台管理業務の担当者
カルチャースタッフ	12人	受付業務、自主事業及び地域事業補佐



(2) 人材育成

令和5年度の研修計画は以下の通りです。

研修名称	研修内容	
施設機器・舞台技術	館内の音響機材（ミキサーワゴン、アンプ、電子ピアノ、キーボードなど）やその他備品（プロジェクター、スポットライト取付、フック取付等）の取扱いを習得します。また、ホールの電源、音響や照明の電源の入れ方、ピアノのセッティングなど、舞台スタッフの非常時に備え、リハーサルや練習利用レベルに対応できるように学びます。	1回/年
個人情報保護法	個人情報保護法を座学で学び、自身の業務における危険性をグループディスカッションしながら、知見を深め、現状の問題点を洗い出し、手順書やルールに反映します。	1回/年
介助・介護・救急救命	ケアプラザより、介助、介護の実態や対応方法を座学で学び、車いすの使用法や自ら当事者になれる道具を使い、介助する側される側の気持ちや対応を体感します。また、消防署より、救急救命として、搬送やAEDの取扱いを学び、実際に対応する側、される側の気持ちや対応を体感します。	1回/年
避難誘導訓練	ホールや諸室に利用者がいる前提で、緊急避難速報からはじめ、自らの命を守ること、館内放送、各所室への連絡・誘導の対応を体感し、災害対応マニュアルに反映します。	1回/年
防災訓練（施設共同）	あすぶらざでの2回/年の防災訓練を通じ、地球市民プラザの施設全体の発災時の連携や連絡体制を学びます。	2回/年
障害者差別解消法等	市の重要施策の一つ、障害者差別解消法を座学で学び、館の運営として対応できることのディスカッションを行います。	1回/年
人権・コンプライアンス・CSR	職場におけるセクハラやパワハラなどのハラスメント（嫌がらせ）、不当な差別など、LGBTなど企業が関わる様々な「人権問題」、企業倫理など現状や注意点を学びます。	1回/年
マナー・接遇	プロの講師を迎え、接遇、レセプションにとって必要な知識や所作を学びます。	1回/年
安全衛生・防犯	感染症などの安全衛生や発生時の対応を学びます。また、防犯対策として侵入者に対する対応を警察署の協力のもと学びます。	1回/年
文化施設マネジメント	文化施設の運営に関わる施策や関係法令など、施設マネジメントなどを学びます。	配属時
予約システム研修	横浜市の主催する、横浜市予約システムの研修を全職員受講します。	配属時
建築・設備研修	横浜市の主催する、建築・設備研修を全職員受講します。	配属時

(3) 休館日及び開館時間

市民の利用機会を確保するため、休館日は稼働率が比較的lowめの第2月曜日を原則とします。そのほか、工事や災害による急な対応は、栄区との連携・調整を図り、速やかに利用者に対して告知を行います。施設の休館に関する情報はホームページやSNS（Facebook、LINE等）を活用し、多くの利用者への確かつ迅速に情報を伝達します。

休館日：原則、毎月第2月曜日・年末年始（12/29～1/3）

開館時間：9：00から22：00 受付時間：9：00から21：00

(4) 優先予約について

① 優先予約の対象

次の場合には、予約システムによらない施設利用（優先予約）ができるものとします。ただし、一般利用者の利用を制限しない範囲とするため、以下に定める範囲内とし、優先利用申請に基づき判断いたします。

(ア) 栄区又は市文化観光局が主催又は共催する文化事業で使用する場合

(イ) 指定管理者が主催又は共催する事業で使用する場合

(ウ) (ア)以外の市（局等も含む）が主催又は共催する文化事業で使用する場合

(エ) 栄区が後援する文化事業で使用する場合

(オ) 市（栄区、局等も含む）が主催又は共催する事業で使用する場合

※ 優先順位は（ア）から（オ）の順番とします。ただし、栄区からの要請により各種選挙で利用する場合は、最優先で予約を受付けます。

※ 優先予約は、8か月前の同月より申請を受け付けます。申請が複数あった場合は、各月内でまとめ、以上の優先順位で決定します。

② 優先予約ができる日数

優先予約ができる日数は、土日祝日について、各月の土日祝日日数の2分の1を超えない範囲とします。ただし、各種選挙等の際に、栄区選挙管理委員会が利用する場合は、優先予約ができる日数の対象外として優先予約ができるものとします。

(5) 減免について

① 減免の内容

予約システムで管理できる団体登録のある各団体。年間1コマを平日に限り、以下の条件の減免申請に基づき判断します。減免適用は、1か月上限2団体までとします。（申請順）

減免の対象	減免範囲及び減免率
横浜市（栄区、局等も含む）が主催するもの及び共催する、市の重要政策課題（個人情報保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、障害者差別解消、男女共同参画）の文化事業の実施で利用する場合。	① 対象 施設利用料 ① 減免率 上限50%とし、 10%～50%で申請内容 により指定管理者が決定 ① 対象 予約システムに登録がある団体。 学校、企業、市（局）、区で1団体

② その他

- ・原則、「優先利用」と「減免」は同時に適用できません。
- ・また減免に関する基準は、必要に応じ見直しを行います。

③ 適用予定日

令和4年6月1日以降の利用希望日に対する申請分から適用予定です。

(6) 収支の考え方

- 新型コロナによる利用控えは想定しません。
- 令和5年度の光水熱費の高騰は予測がつかないため、変動費である事務費の支出を令和4年度同様に抑えつつ、提案時の2割増で作成しています。(物価高騰支援金は概ねここに充当しています。)
- 施設利用料金は、施設利用に制限がかからない前提(休館、時間短縮、人数制限など)で、通常予定の収入で策定しています。
- 自主事業は、施設利用に制限がない前提(休館、時間短縮、人数制限など)で、通常予定の収入で策定しています。
- 修繕工事、備品購入については、収支の状況を踏まえながら、計画修繕、計画備品購入を行います。

(7) 各指標及び添付資料について

- 使命1から使命6までの評価項目及び指標と補足資料に関しては、「【栄区民文化センター】R5完了確認表」に記載の通りとします。
提案時の指標は、新型コロナの影響などの外的要因による影響がない前提ですので、期中はしっかりとモニタリングをしながら進めてまいります。
- 添付資料として、以下を添付します。
 - ・令和5年度の収支予定表
 - ・事業の年間スケジュール表
 - ・保守点検等のスケジュール表

令和5年度リリス収支予算書

科目	令和5年提案予算 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	令和4年度着地予想
指定管理料	113,030,000	4,481,000	117,511,000		117,511,000	113,050,000
利用料金収入	22,050,000	0	22,050,000		22,050,000	22,813,570
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入		0	0		0	
自主事業収入	13,830,000	5,098,000	18,928,000		18,928,000	20,432,700
						5,192,388
雑入	1,340,000	-540,000	800,000	0	800,000	1,406,844
印刷代	200,000	△ 80,000	120,000		120,000	138,508
自動販売機手数料	500,000	60,000	560,000		560,000	551,276
駐車場利用料収入			0		0	
その他（協賛金・助成金、サービス業務）	640,000	△ 520,000	120,000		120,000	717,060
収入合計	150,250,000	9,039,000	159,289,000	0	159,289,000	162,895,502

科目	令和5年提案予算 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	令和4年度着地予想
人件費	75,370,000	1,090,000	76,460,000	0	76,460,000	75,369,996
給与・賃金	75,370,000	1,090,000	76,460,000		76,460,000	75,369,996
社会保険料		0	0		0	
通勤手当		0	0		0	
健康診断費		0	0		0	
勤労者福祉共済掛金		0	0		0	
退職給付引当金繰入額		0	0		0	
事務費	8,790,000	810,400	9,600,400	0	9,600,400	9,246,252
旅費	30,000	90,000	120,000		120,000	109,742
消耗品費	1,360,000	△ 160,000	1,200,000		1,200,000	1,421,580
会議賄い費		0	0		0	0
印刷製本費	1,000,000	320,000	1,320,000		1,320,000	1,175,781
通信費	860,000	160,000	1,020,000		1,020,000	1,356,044
ホームページ運用費			0		0	266,200
アンケート調査費						0
使用料及び賃借料	2,740,000	△ 689,000	2,051,000	0	2,051,000	2,377,664
横浜市への支払分	190,000	△ 49,000	141,000		141,000	140,672
その他	2,550,000	△ 640,000	1,910,000		1,910,000	2,236,992
備品購入費	1,210,000	290,000	1,500,000		1,500,000	375,396
図書購入費	140,000	15,000	155,000		155,000	149,900
施設賠償責任保険	150,000		150,000		150,000	149,020
職員等研修費	250,000		250,000		250,000	152,000
振込手数料	80,000	64,400	144,400		144,400	117,924
リース料	720,000	△ 230,000	490,000		490,000	412,399
手数料	250,000	950,000	1,200,000		1,200,000	1,182,602
雑費			0		0	0
地域協力費			0		0	0
事業費	12,320,000	5,658,336	17,978,336	0	17,978,336	17,541,447
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費		0	0		0	
自主事業費	12,320,000	5,658,336	17,978,336		17,978,336	17,541,447
管理費	53,760,000	459,260	54,219,260	0	54,219,260	59,899,203
光熱水費	10,870,000	1,834,000	12,704,000	0	12,704,000	18,564,537
電気料金	7,480,000	1,568,000	9,048,000		9,048,000	12,181,767
ガス料金	3,130,000	302,000	3,432,000		3,432,000	6,115,696
水道料金	260,000	△ 36,000	224,000		224,000	267,074
清掃費	9,500,000	△ 1,052,000	8,448,000		8,448,000	8,448,000
修繕費	1,800,000	200,000	2,000,000		2,000,000	1,890,006
機械警備費			0		0	
設備保全費	4,990,000	2,260	4,992,260	0	4,992,260	4,921,660
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
舞台設備保守	3,990,000	△ 1,100,500	2,889,500		2,889,500	2,735,700
その他の保守	880,000	765,600	1,645,600		1,645,600	1,729,200
エレベーター保守	120,000	2,760	122,760		122,760	122,760
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費		334,400	334,400		334,400	334,000
保守点検管理費			0		0	
共益費	26,600,000	△ 525,000	26,075,000		26,075,000	26,075,000
公租公課	10,000	26,000	36,000	0	36,000	31,300
事業所税		0	0		0	
消費税(2%分)			0		0	
印紙税	10,000	26,000	36,000		36,000	31,300
その他()		0	0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	995,004	995,004	0	995,004	890,504
本部分			0		0	
当該施設分		995,004	995,004		995,004	890,504
二一ス対応費	0	0	0	0	0	0
支出合計	150,250,000	9,039,000	159,289,000	0	159,289,000	162,978,702
差引	0	0	0	0	0	△ 83,200

自主事業費収入	13,830,000	5,098,000	18,928,000	0	18,928,000
自主事業費支出	12,320,000	5,658,336	17,978,336	0	17,978,336
自主事業収支	1,510,000	-560,336	949,664	0	949,664
管理許可・目的外使用許可収入	500,000	60,000	560,000	0	560,000
管理許可・目的外使用許可支出	190,000	-49,000	141,000	0	141,000
管理許可・目的外使用許可収支	310,000	109,000	419,000	0	419,000

令和5年度 横浜市栄区民文化センター 指定管理者 完了確認表

評価項目				指標					
施設の使命を達成するための取組	通番	指定管理者提案		R4年度	R4年度着地予想	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
使命1 文化芸術の活動と体験の場となる	1	貸館利用率(業務の基準で設定している定量指標①)	大ホール	92%	95%	92%	93%	93%	93%
			ギャラリー	87%	71%	87%	87%	87%	88%
	2	総来場者数(業務の基準で設定している定量指標②) 延べ		138,000	115,000	138,800	139,300	139,600	140,000
	3	利用者の状況についての現状把握(業務の基準で設定している定性指標①)		当施設利用者へのアンケートの実施等による統計・分析、現利用団体の活動状況把握、報告書の作成、データ化	解析中	当施設利用者へのアンケートの実施等による統計・分析、現利用団体の活動状況把握、報告書の作成、データ化	当施設利用者へのアンケートの実施等による統計・分析、現利用団体の活動状況把握、報告書の作成、データ化	当施設利用者へのアンケートの実施等による統計・分析、現利用団体の活動状況把握、報告書の作成、データ化	潜在的利用者(区内小中学校生徒、地区センター利用者など)へのアンケートの実施(利用率、当施設に求めるもの)による統計・分析、報告書の作成、データ化
	4	貸館利用率(指定管理者提案の定量指標①)	音楽ルーム	94%	98%	97%	97%	97%	97%
			会議室A	92%	77%	94%	94%	95%	95%
			会議室B	90%	80%	92%	92%	92%	93%
練習室A			100%	100%	100%	100%	100%	100%	
練習室B	100%	100%	100%	100%	100%	100%			
5	「リリスを支える区民の会」参加サークル・団体数の増員(指定管理者提案の定量指標②)		現在より延べ2団体以上増	4団体増の継続	現在より延べ2団体以上増	2年目より延べ1団体以上増	2年目より延べ1団体以上増	2年目より延べ2団体以上増	
評価項目				指標					
施設の使命を達成するための取組		指定管理者提案		R4年度	R4年度着地予想	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
使命2 文化・芸術活動を担う人材を育む	1	アウトリーチ先の新規開拓数(業務の基準で設定している定量指標①)		1件以上	3件	2件以上	2件以上	2年目より1件以上	2年目より2件以上
	2	次世代育成・若手アーティスト育成等に寄与する事業数(指定管理者提案の定量指標①) ・若手アーティスト育成等に寄与する事業数		5事業以上	9事業	9事業以上	9事業以上	9事業以上	9事業以上
	3	施設の事業に協力する地域住民(ボランティア等)の人数(指定管理者提案の定量指標②) ・施設の事業に協力する地域住民(区民ボランティア等)の数		20名	35名(延べ)	40名	60名	80名	100名
	4	子どもたちや学校の定性分析(指定管理者提案の定性指標①) ・アンケート内容では記述式の設問を重視し定性分析を行う		定性分析及びレポート	解析中	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート
	5	新たに参加した人の属性分析(指定管理者提案の定性指標②) ・アンケート内容は記述式の設問を重視し定性分析を行う		定性分析及びレポート	解析中	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート	定性分析及びレポート

令和5年度 横浜市栄区民文化センター 指定管理者 完了確認表

評価項目		指標					
施設の使命を達成するための取組	指定管理者提案	R4年度	R4年度着地予想	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
使命3 次世代を担う人材を育む	1 「横浜トリエンナーレ」との連携事業実施数(業務の基準で設定している定量指標①)	—	—	1事業以上			2事業以上
	2 鑑賞事業(公演)におけるチケット完売率(完売公演数/全公演数)(業務の基準で設定している定量指標②)	70%以上	76%	80%以上	82%以上	83%以上	85%以上
	3 鑑賞型事業のメニューのジャンル数及び実施回数(指定管理者提案の定量指標①) ・音楽、ダンス、パフォーマンス、伝統芸能、アート、演劇の全6ジャンル	3ジャンル 実施回数:20回	8ジャンル27回	5ジャンル 実施回数:24回	5ジャンル 実施回数:24回	6ジャンル 実施回数:24回	6ジャンル 実施回数:24回
	4 体験型事業の事業数及び実施回数(指定管理者提案の定量指標②)	事業数:4事業 実施回数:4回	事業数:5事業 実施回数:7回	事業数:5事業 実施回数:6回	事業数:5事業 実施回数:6回	事業数:5事業 実施回数:6回	事業数:5事業 実施回数:6回
	5 アウトリーチ事業の実施回数(指定管理者提案の定量指標③)	実施回数:4回	14回	実施回数:7回	実施回数:7回	実施回数:7回	実施回数:7回
	6 来場者(参加者)満足度(アンケート集計)(指定管理者提案の定量指標④) ※5段階(大満足、満足、普通、不満、大不満)	「満足」以上80%	96%	「満足」以上80%	「満足」以上85%	「満足」以上85%	「満足」以上90%
	7 参加者の定性分析(指定管理者提案の定性指標①) ※年代、地域性、嗜好ジャンル、来場回数、満足度など	定性分析&レポート	解析中	定性分析&レポート	定性分析&レポート	定性分析&レポート	定性分析&レポート
使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける	1 社会包摂の実現を目指す事業数(業務の基準で設定している定量指標①) ・アウトリーチなど、誰もが参加・体験できる事業	2事業以上	6事業	2事業以上	2事業以上	3事業以上	3事業以上
	2 地域の施設・団体と連携して実施した事業数(業務の基準で設定している定量指標②) ・地区センター、コミュニティハウスでのアウトリーチ	2事業以上	6事業	2事業以上	2事業以上	3事業以上	3事業以上
	3 地域コーディネーター担当による地域との連携状況のレポート(業務の基準で設定している定性指標①)	初年度・2年目のレポートを作成し事業計画に反映	解析中	初年度・2年目のレポートを作成し事業計画に反映	3年目のレポートを作成し事業計画に反映	4年目のレポートを作成し事業計画に反映	5年間の連携状況について報告書を作成し事業実施報告会を開催
	4 バリアフリーの視点からの来館者の声(業務の基準で設定している定性指標①) (アンケート調査インタビュー調査)	来館者に対するアンケート調査・インタビュー調査を実施し事業計画に反映	解析中	来館者に対するアンケート調査・インタビュー調査を実施し事業計画に反映	来館者に対するアンケート調査・インタビュー調査を実施し事業計画に反映	来館者に対するアンケート調査・インタビュー調査を実施し事業計画に反映	5年間の調査結果について報告書を作成し結果を公表
	5 ソーシャル・インクルージョンの関連研修への職員の参加数(指定管理者提案の定量指標①)	年間 1回以上	1回	年間 1回以上	年間 1回以上	年間 1回以上	外部への研修 1回以上
	6 地域コーディネーターの関連研修への参加数(指定管理者提案の定量指標②)	年間 1回以上	1回	年間 1回以上	年間 1回以上	年間 1回以上	外部への研修 1回以上

令和5年度 横浜市栄区民文化センター 指定管理者 完了確認表

評価項目		指標					
施設の使命を達成するための取組	指定管理者提案	R4年度	R4年度着地予想	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
使命5 持続可能性を高める施設運営を行う	1 施設の管理瑕疵に起因する事故件数(業務の基準で設定している定量指標①)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	2 法定点検等の実施(業務の基準で設定している定量指標②)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	3 修繕予算の執行率(業務の基準で設定している定量指標③)	90%	130%	90%	90%	90%	90%
	4 施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング(業務の基準で設定している定性指標①)	ヒアリング後、是正及び市・区への報告	解析中	ヒアリング後、是正及び市・区への報告	ヒアリング後、是正及び市・区への報告	ヒアリング後、是正及び市・区への報告	ヒアリング後、是正及び市・区への報告
	5 管理運営費推移の要因分析(業務の基準で設定している定性指標②)	要因分析と次年度反映	解析中	要因分析と次年度反映	要因分析と次年度反映	要因分析と次年度反映	要因分析と市・区への結果報告
	6 評価委員会の満足度評価(指定管理者提案の定量指標①) ※5段階評価(大満足、満足、普通、不満、大不満)	—	—	評価4以上の割合 80%	評価4以上の割合 80%	評価4以上の割合 85%	評価4以上の割合 90%
	7 備品予算の執行率(指定管理者提案の定量指標②)	90%以上	50%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

2023年度自主事業計画スケジュール

2023 上期 自主事業実施スケジュール(案)

2023/2/27

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他
1 土	3/29~午後音先行発売	1 月		1 木		1 土		1 火	ヤマハジョイフルコンサート	1 金	
2 日	かながわ音楽コンクール	2 火		2 金		2 日		2 水		2 土	
3 月		3 水		3 土		3 月	ST点検	3 木		3 日	
4 火		4 木		4 日		4 火	ST点検	4 金		4 月	
5 水	午後音一般発売	5 金	午後音一般発売	5 月	CFⅢ点検/S4PF点検	5 水	午後音一般発売	5 土		5 火	午後音一般発売
6 木		6 土		6 火	CFⅢ点検	6 木	照明保守点検 ピンスポット、ギャラリーパネル保守 S4・YU調律	6 日		6 水	
7 金		7 日	翠風荘89(仮)	7 水	クラシック講座③	7 金	田シリーズ先行	7 月	休館日 定期清掃	7 木	
8 土		8 月	休館日	8 木		8 土	翠風荘90(仮)	8 火	午後音154回尾城杏奈×山縣美季	8 金	舞台機構保守/シャッター保守/
9 日		9 火	舞台機構保守/シャッター保守/S4・YU調律	9 金		9 日	休館日	9 水	ヤマハジョイフルコンサート	9 土	
10 月	休館日 定期清掃	10 水		10 土		10 月	休館日	10 木		10 日	翠風荘91(仮)
11 火	ST調律 S4・YU11調律	11 木		11 日		11 火	午後音153回ベートーヴェンコンクール	11 金		11 月	休館日
12 水		12 金		12 月	休館日 定期清掃	12 水		12 土		12 火	CFⅢ調律 S4・YU11調律
13 木		13 土		13 火	音響保守 S4・YU11調律	13 木		13 日		13 水	午後音155回ワノートバンド
14 金	午後音150回BSQ	14 日	翠風荘89(仮)	14 水		14 金	ヤマハジョイフルコンサート	14 月		14 木	
15 土		15 月		15 木		15 土		15 火	石田シリーズ一般	15 金	
16 日	かながわ音楽コンクール	16 火		16 金		16 日		16 水		16 土	
17 月		17 水	クラシック講座②	17 土		17 月		17 木		17 日	栄ゾリステン 翠風荘91(仮)
18 火		18 木		18 日		18 火	身体にいい先行発売	18 金		18 月	
19 水		19 金		19 月		19 水	クラシック講座⑤	19 土		19 火	
20 木		20 土		20 火	午後音152回佐藤友紀	20 木		20 日		20 水	
21 金		21 日		21 水		21 金		21 月		21 木	
22 土		22 月		22 木		22 土		22 火		22 金	
23 日		23 火	午後音151回西山瞳トリオ	23 金		23 日		23 水		23 土	
24 月		24 水		24 土		24 月		24 木	山根一仁一般	24 日	第19回身体にいい音楽会
25 火		25 木		25 日		25 火	身体にいい一般発売	25 金		25 月	
26 水	クラシック講座①	26 金		26 月		26 水		26 土		26 火	
27 木		27 土		27 火		27 木		27 日		27 水	
28 金	午後音先行発売	28 日		28 水	クラシック講座④	28 金		28 月		28 木	午後音先行発売
29 土		29 月	午後音先行発売	29 木		29 土	オープンデー準備	29 火	午後音先行発売	29 金	
30 日		30 火		30 金		30 日	オープンデー	30 水		30 土	SAKAESWA(三村)
		31 水		31 月		31 月		31 木			

2022 下期

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他	ホール	その他
1 日		1 水	三宅太鼓×鼓童	1 金		1 月	休館日	1 木		1 金	
2 月		2 木		2 土	PF本郷特支?	2 火	休館日	2 金		2 土	
3 火		3 金	文化祭邦楽の集い	3 日		3 水	休館日	3 土		3 日	
4 水		4 土		4 月		4 木	始業点検	4 日		4 月	
5 木	午後音一般発売	5 日	午後音一般発売	5 火	午後音一般発売	5 金	午後音一般発売	5 月	午後音一般発売	5 火	午後音一般発売
6 金		6 月		6 水		6 土	ヤマハジョイフルコンサート	6 火		6 水	
7 土	栄区邦楽協会	7 火		7 木		7 日		7 水		7 木	
8 日		8 水		8 金		8 月		8 木		8 金	舞台機構保守/シャッター保守/ギャラリーパネル保守
9 月	石田シリーズ29	9 木	午後音157回竹山愛	9 土		9 火	ST点検	9 金		9 土	
10 火		10 金		10 日		10 水	ST点検	10 土		10 日	翠風荘94(仮)
11 水		11 土		11 月	休館日 定期清掃	11 木		11 日	ヤマハジョイフルコンサート	11 月	休館日
12 木		12 日	文化祭器楽の祭典 翠風荘92(仮)	12 火	CFⅢ調律 S4・YU11調律	12 金		12 月	石田シリーズ30(FINAL)	12 火	CFⅢ調律 S4・YU11調律
13 金		13 月	休館日	13 水		13 土		13 火		13 水	
14 土	ヤマハジョイフルコンサート	14 火	舞台機構保守/シャッター保守/S4・YU調律	14 木		14 日		14 水		14 木	
15 日		15 水		15 金		15 月	翠風荘93(仮)	15 木		15 金	
16 月	休館日 定期清掃	16 木		16 土		16 火	休館日	16 金	さかえ春の文化祭	16 土	
17 火	ST調律 栄区民芸術祭	17 金		17 日		17 水	S4・YU調律 13-17	17 土		17 日	翠風荘94(仮)
18 水		18 土		18 月		18 木		18 日	音響保守/テーブルフター保守	18 月	
19 木	午後音156回服部恵	19 日	翠風荘92(仮)	19 火	午後音158回倉富亮太ピアノトリオ	19 金	午後音159回荒井里桜	19 月	休館日 定期清掃	19 火	
20 金		20 月		20 水		20 土		20 火	午後音160回高橋里奈	20 水	
21 土		21 火		21 木		21 日		21 水	S4・YU11調律	21 木	
22 日		22 水		22 金		22 月		22 木		22 金	
23 月		23 土	山根一仁	23 土		23 火		23 金		23 土	
24 火		24 日		24 水		24 月		24 土		24 日	翠風荘94(仮)
25 水		25 土		25 月	第8回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア予選会	25 木	第8回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア本選会	25 日		25 月	
26 木		26 日	碓井俊樹 翠風荘92(仮)	26 火		26 金		26 月		26 火	
27 金		27 月		27 水		27 土		27 火	午後音先行発売	27 水	
28 土	文化祭ソリスト&シャンソン	28 火	午後音先行発売	28 木		28 日		28 水		28 木	
29 日		29 水		29 金	休館日	29 月	午後音先行発売	29 木		29 金	午後音先行発売
30 月		30 木		30 土	休館日	30 火		30 水		30 土	
31 火	三宅太鼓×鼓童準備	31 日		31 月	休館日	31 水				31 日	翠風荘94(仮)

主催事業/公演 同/講座事業 共催・後援事業等 区役所関係 優先予約 休館日